

地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業計画書

1. 基本情報

自治体名	他市町村との連携	事業番号	事業名			
喜多方市		A-4	農畜産物ブランド化・販路拡大推進事業			
事業実施年度	当該年度総事業費	経費区分（該当区分に○を入力）				
R8年度	20,908千円	①情報発信事業			②外部人材活用	
事業費	左記 事業費のうち 国費負担分	i 風評動向調査	ii 体験等企画実施	iii 情報発信コンテンツ 作成	i 企画立案のための外 部人材の活用	ii 地域の語り部の育成
2,168千円	1,084千円		○	○		

2. 風評等の現状や課題、これまでの取組

自治体が抱える風評等の現状について
<ul style="list-style-type: none"> ● 福島第一原子力発電所の原子力災害により、本市をはじめ福島県は科学的根拠に基づかない風評被害を被ってきた。 ● これまで、風評払拭に係る様々な情報発信を行ってきたものの、首都圏のスーパーで販売されている福島県産米はごくわずかであり、震災前は幼稚園・こども園等に対し納入されていた福島県産米は、未だ保護者の理解を得られず取り扱われないなど、一定数の風評被害が残っている状況にある。また、これまで本市が実施してきた消費者モニターツアーの結果においても、震災から14年が経過したにもかかわらず、未だに福島県産農畜産物を敬遠する消費者もいることが確認されている。 ● また、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和し、外食需要の拡大が期待される中、令和5年8月に開始されたALPS処理水の放出は、インバウンド需要に沸く外食産業や外国人観光客の間では、本県水産物を中心に再び科学的根拠に基づかない風評の再燃が懸念され、または既に発生している状況にある。
上記の現状の原因となる課題について
<ul style="list-style-type: none"> ● 風評の大きな要因である「食の安全性」について、正確な情報を発信し、理解を得るとともに、本市産農畜産物の安全・安心・おいしさとともに品質の高さについて、今一度、首都圏などの消費者、市場関係者に対する正確な情報発信による理解の醸成に取り組んでいく必要がある。
上記の課題に対するこれまでの自治体の取組について（自治体独自の取組を含む）
<ul style="list-style-type: none"> ・ J A 会津よつばと連携したトップセールスの実施【H23～継続】 ・ 市独自の放射性物質検査の実施【H23～継続】 ・ 農業者の販売促進に向けた放射性物質検査への支援【H23～継続】 ・ 首都圏大型量販店等での農産物販売促進イベントの実施【H25～R1】

- ・千葉県市川市学校給食への本市産米の導入（復興庁表敬）【H29～継続】
- ・交流のある市区を中心とした物産展への参加【H23～継続】
- ・きたかた食のパートナーショップ事業による情報発信【H24～継続】
- ・モニターツアーの実施による本市産農畜産物の安全・安心の発信【H28～R6】

上記の取組における成果について

- ・きたかた食のパートナーショップ締結事業者数及び本市産米取扱数量

締結事業者数	H24：6 事業者	R6：45 事業者
取扱数量	H24：148 t（平均 24 t/事業者）	R6：964 t（平均 21 t/事業者）
- ・主要園芸作物等出荷額

H23：1,006 百万円	R6：1,265 百万円（生産面積や販売価格の影響もある）
---------------	-------------------------------

※ すべて「農業振興課調べ」

3. 事業内容の詳細

今年度の具体的な取組内容 ※以下の項目に沿って記載をお願い致します。

農畜産物ブランド化・販路拡大推進事業

1 会津 17 市町村・J A 会津よつばと連携したトップセールスの実施 1 回

①実施期間：令和 8 年 7 月～ 8 月

②実施体制：単独

③実施場所：首都圏の市場関係者及び卸売事業者等

④概算費用：272 千円

⑤実施内容：

会津 17 市町村・J A 会津よつばと連携し、首都圏における市場関係者を中心とする風評払拭に向けたトップセールスに参加し、本市産農畜産物の安全性への理解と取引拡大につなげる。また、トップセールスの実施状況は市の SNS やホームページを通じて広く情報発信を行う。

(1)実施日：令和 8 年 7 月頃

(2)場 所：首都圏市場、大型商業施設

(3)内 容：

会津地方の米や野菜を取り扱う市場関係者や卸売事業者に対し、農畜産物の安全・安心・品質の高さを伝えるとともに、取引の継続・拡大、消費者への理解醸成について、トップセールスを行う。加えて、同時に開催される大型商業施設における観光・物産展において、首長自らが、来場する首都圏の消費者に対し、直接安全・安心・品質の高さをPRする。

⑥「復興・創成に向けた取組や食品等の安全性等の情報」の具体的な発信内容：

首都圏における市場関係者を中心とする風評払拭に向けたトップセールスへの参加に加え、同時に開催される大型商業施設での観光・物産展において、首長自らが会津地方の農畜産物の安全・安心・品質の高さを来場者および関係事業者に対して広くPRする。

⑦「地域の魅力に関する情報」の具体的な発信内容：

首都圏における市場関係者を中心とする風評払拭に向けたトップセールスへの参加に加え、同時に開催される大型商業施設での観光・物産展において、首長自らが会津地方の農畜産物の魅力を来場者および関係事業者に対して広くPRする。

2 生産者や首都圏の米卸売業者等と連携した販売促進イベントへの参加

①実施期間：令和8年7月～12月

②実施体制：単独

③実施場所：首都圏

④概算費用：215千円

⑤実施内容：

生産者や首都圏の米卸売業者等と連携し、首都圏で開催される販売促進イベントへ参加し、風評払拭に向けて直接消費者に対し、本市産農畜産物の安全性とおいしさをPRする。また、イベントの実施状況は市のSNSやホームページを通じて広く情報発信を行う。

(1)事業名：大新宿区まつり

(2)実施日：令和8年11月頃

(3)場 所：新宿区

(4)内 容：新宿区内に店舗を構える食のパートナーショップ2件が所属する組合や生産者と連携し、本市産農畜産物の販売促進、安全・安心をPRする。

(5)販促品：本市産農産物を使用した加工品（6次化商品）などを活用し、購入者に販売促進グッズとして配布する。また、昨年度事業で作成したパートナーショップPRチラシや観光パンフレット等を配布する。

⑥「復興・創成に向けた取組や食品等の安全性等の情報」の具体的な発信内容：

首都圏で行われる各種イベントへ本市の生産者が出向き、来場者に対して農畜産物の安全性を直接PRする。また、イベントの実施状況は市のSNSやホームページを通じて

広く情報発信を行う。

⑦「地域の魅力に関する情報」の具体的な発信内容：

首都圏で行われる各種イベントへ本市の生産者が出向き、来場者に対して農畜産物の品質の高さ、味わいの良さを直接 PR する。また、イベントの実施状況は市の SNS やホームページを通じて広く情報発信を行う。

3 きたかた食のパートナーショップとの連携による情報発信

①実施期間：令和8年4月～令和9年3月

②実施体制：単独

③実施場所：首都圏 等

④概算費用：1,681 千円

⑤実施内容：

首都圏を中心に本市産農産物等を取り扱う「きたかた食のパートナーショップ」に対し、販促グッズや観光パンフレットの提供を行い、首都圏の消費者に対し、本市の多様な魅力と風評払拭に向けて農畜産物の安全性等についての発信を行う。販促グッズの提供については、（一社）喜多方観光物産協会に対し販促グッズとして本市産農産物を使用した加工品（6次化商品）や観光パンフレット等を配布する業務を委託して実施する。また、パートナーショップを実際に訪問し、消費者の感想や取扱店の本県産農畜産物への反応等についてヒアリングを行い、以降の施策の参考とする。

⑥「復興・創成に向けた取組や食品等の安全性等の情報」の具体的な発信内容：

首都圏を中心に本市産農産物等を取り扱う「きたかた食のパートナーショップ」に対し、販促グッズ（本市産農産物を使用した6次化商品）や観光パンフレットの提供を行い、首都圏の消費者に対し、本市農畜産物の安全性等についての発信を行う。

⑦「地域の魅力に関する情報」の具体的な発信内容：

首都圏を中心に本市産農産物等を取り扱う「きたかた食のパートナーショップ」に対し、販促グッズ（本市産農産物を使用した6次化商品）や観光パンフレットの提供を行い、首都圏の消費者に対し、本市の多様な魅力についての発信を行う。

4. 事業における目標等

今年度におけるアウトプット ※定量的な目標に限る	今年度におけるアウトカム ※定量的な目標に限る
<p>(1) J A会津よつばと連携したトップセールスの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏 1回 ・トップセールス訪問企業数 4社程度 <p>(2) J A会津よつばとや生産者、首都圏の米卸売業者等と連携した販売促進イベントへの参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏 1回 ・昨年度作成したパートナーショップチラシ等の配布 500部程度 <p>(3) きたかた食のパートナーショップとの連携による情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パートナーショップ訪問 1回、8社程度 ・昨年度作成したパートナーショップチラシ等の配布 500部程度 	<p>(1) J Aと連携したトップセールスの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8産主要園芸作物等出荷額 1,230百万円程度 <p>(2) J Aや生産者、首都圏の米卸売業者等と連携した販売促進イベントへの参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年産主要園芸作物等出荷額 1,230百万円程度 <p>(3) きたかた食のパートナーショップとの連携による情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パートナーショップにおける本市産米の取扱量 1,000t
長期的な目標 ※1つ以上は定量的な目標を設定	長期的な目標の現在の進捗状況 ※達成度合いも記載(○%)
<p>(1) きたかた食のパートナーショップ締結事業者数及び本市産米取扱数量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・締結事業者数 R8 : 50事業者 ・本市産米取扱量 R8 : 1,392.6t <p>(2) 主要園芸作物等出荷額 R8 : 1,250百万円</p>	<p>(1) きたかた食のパートナーショップ締結事業者数及び本市産米取扱数量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・締結事業者数 R6 (現状) : 45事業者 (90.0%) ・本市産米取扱量 R6 (現状) : 964.0t (69.2%) <p>(2) 主要園芸作物等出荷額 R6 (現状) : 1,265百万円 (101.2%)</p> <p>※ すべて「農業振興課調べ」</p>